

問 33 【産業】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

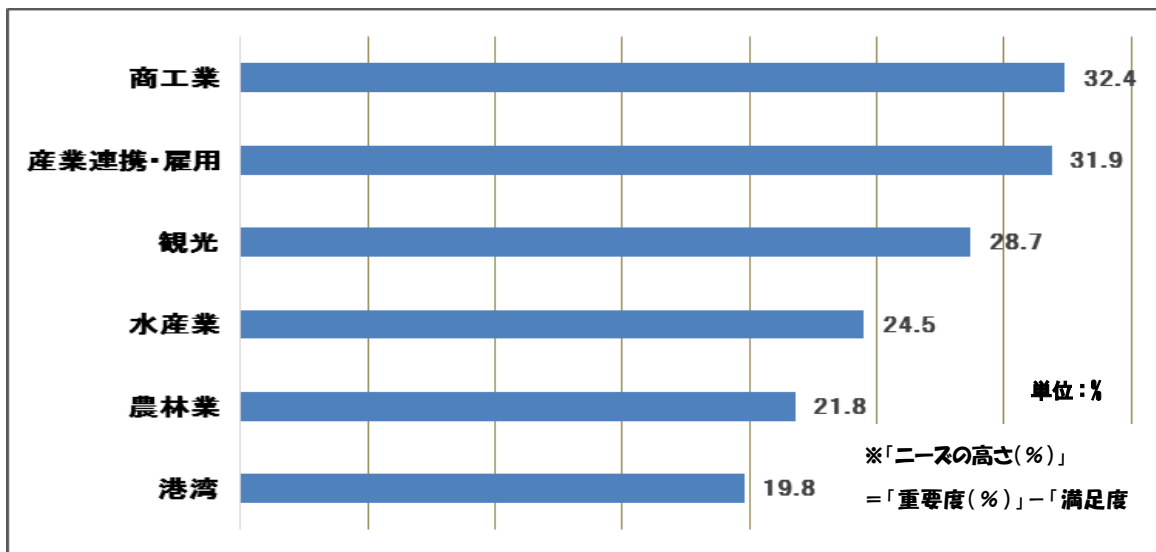
( ) 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①産業連携・雇用	<p>【施策の目標】 地場製品の安定した需給体制の確立とブランド力の向上を図るとともに、農林漁業者と2次・3次産業との連携による6次産業化を推進します。 また、すべての勤労者や求職者が、自らの能力を十分に発揮し、安心して働くことができるよう、雇用環境の充実に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・起業と産業連携の促進 ・食材王国しらおいブランドの推進 ・雇用の拡大・雇用環境の充実</p>	48.4% (45.8%)	80.3% (79.8%)
②港湾	<p>【施策の目標】 海上貨物輸送の拠点となる地方港湾白老港の整備や施設の適切な維持管理を進めるとともに、商港区や関連施設の利用を促進し、地域経済の持続的な発展をめざします。</p> <p>【基本事業】 ・白老港の整備促進・商港区の利用促進・親しまれる港づくり</p>	48.8% (47.4%)	68.6% (66.4%)
③商工業	<p>【施策の目標】 地域経済基盤の強化や雇用の維持・創出を図るため、既存商工業の振興はもとより、新規企業の誘致を積極的に進めるとともに、豊富な地域資源を活用した新たな商品開発の推進や、急速に進展する高齢化社会や多様化する消費者ニーズに対応した魅力と特色のある商業機能の充実に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・企業誘致の推進 ・商工業の活性化</p>	46.0% (40.6%)	78.4% (76.3%)
④観光	<p>【施策の目標】 豊かな自然やバラエティに富んだ食材、温泉や歴史・文化など様々な観光資源を活用し、魅力ある商品造成や環境を創出するとともに、本町の魅力を国内外に積極的に発信し、旅行者に選ばれる観光地をめざします。 また、2020年の「オリンピック・パラリンピック東京大会」の開催及び「民族共生の象徴となる空間」の開設による来訪者の満足度を高めるため、常に観光資源、商品の改善に努めるとともに、おもてなしと思いやりの心あふれる受入れ体制の充実により、「よろこびと感動」を共有する観光のまちづくりを推進します。</p> <p>【基本事業】 ・魅力ある観光地の形成・受入れ環境の整備、充実 ・観光客誘致の推進</p>	48.5% (45.8%)	77.2% (76.4%)
⑤農林業	<p>【施策の目標】 農業や林産業の振興による地域活性化を図るため、安心・安全な生産体制の確立や生産能力の向上、担い手の育成、消費拡大など多面的な取り組みを進め、基盤の整備や経営の安定化を促進します。 また、森林の持つ多面的・公益的な機能の維持増進を図るため、森林の保全や整備を進めます。</p> <p>【基本事業】 ・農業基盤の整備 ・農業経営の強化 ・環境と人にやさしい農業の推進 ・森林の整備と保全 ・林産物の利活用の推進</p>	51.6% (49.5%)	73.4% (72.1%)
⑥水産業	<p>【施策の目標】 漁業者や水産加工業者の生産性や生産者価格の向上による経営の安定のため、装備・機械の近代化や担い手の育成、漁場など生産基盤の整備を推進するとともに、つくり育てる漁業、水産物の消費や販路の拡大、水産加工業の振興を図り、地域水産業の活性化を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・水産業経営の安定化・漁業基盤の強化 ・栽培漁業・資源管理型漁業の推進</p>	53.6% (54.6%)	78.1% (75.7%)

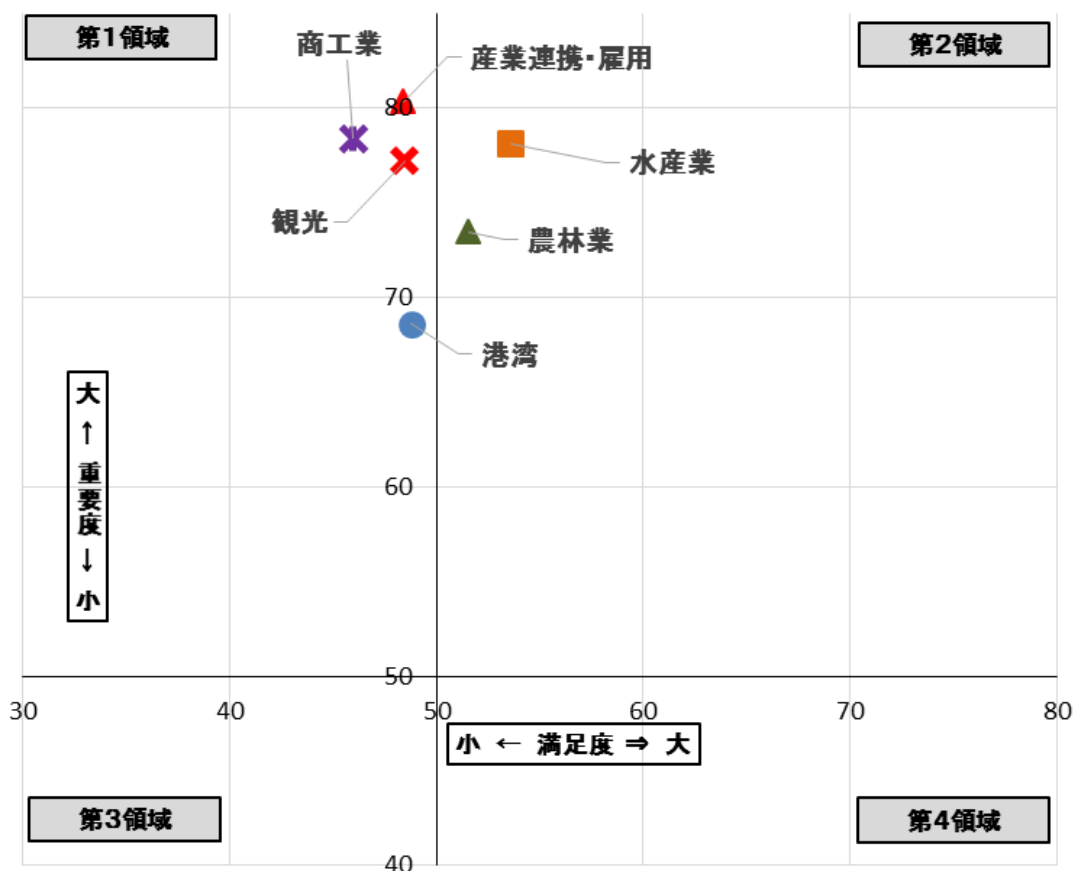
## 【産業】分野の施策に対するニーズの高さ

★商工業のニーズが最も高く、次に産業連携・雇用や観光も高いニーズとなっています。

★6つの施策のなかで、すべてが第2領域(継続して取り組むべき施策)に入っています。



## 「産業」分野の満足度・重要度分布図



※ 各領域の説明

【第1領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策

【第2領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が高い(50%以上) ⇒ 継続して取り組む施策

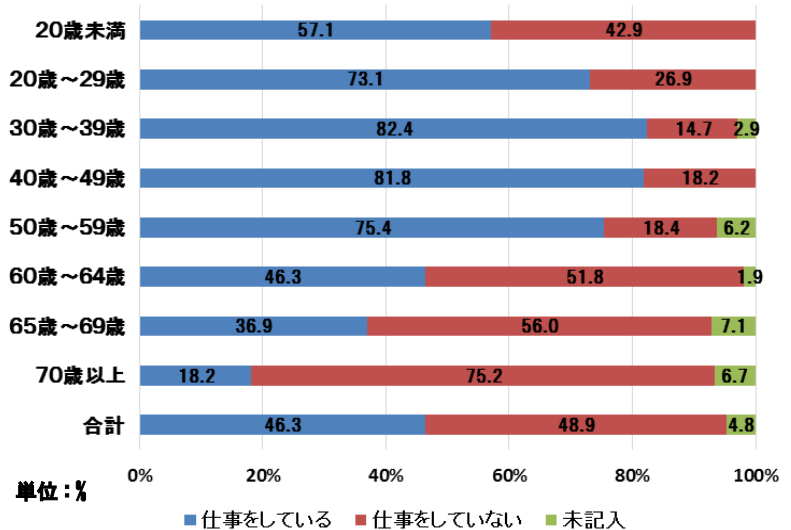
【第3領域】 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 改善を要する施策

【第4領域】 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が低い(50%未満) ⇒ 見直しを検討すべき施策

問 34 あなたは現在、パートタイム、アルバイト等を含めて何か仕事をされていますか。

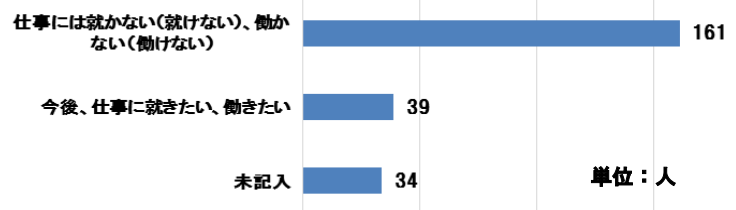
●「仕事をしている」と回答した割合は全体で 46.3%

・生産年齢人口において仕事をしている割合が高くなってはいますが、60歳～64歳で46.3%、65歳～69歳で36.9%、さらには70歳以上でも18.2%の方が就労されており、全体的に高齢者の皆さんの就労期間が長期化していることがうかがえます。



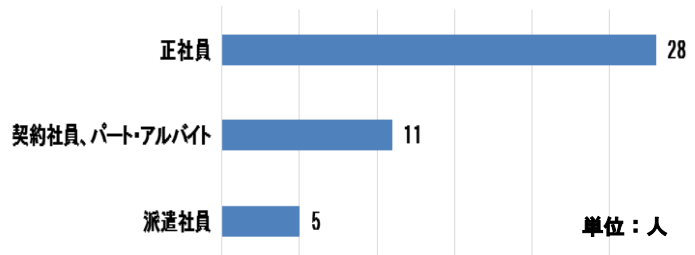
問 34-2 現在、「仕事をしていない」とお答えした方にお聞きします。今後、仕事に就きたい、働きたいとお考えですか。

●就労を考えている 68.8%



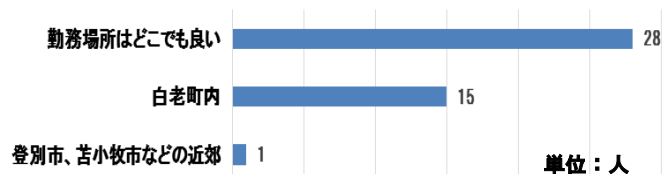
問 34-3 「今後、仕事に就きたい (仕事に就きたい)」とお答えした方にお聞きします。  
1) 雇用形態として望むものは次のうちどれですか。(いずれか一つに○)

- 正社員 63.6%
- 契約社員、パート・アルバイト 25.0%
- 派遣社員 11.4%



2) 勤務場所として望むものは次のうちどれですか。(いずれか一つに○)

- 白老町内 34.1%
- 登別市、苫小牧市など近郊 2.3%
- 場所は問わない 63.6%

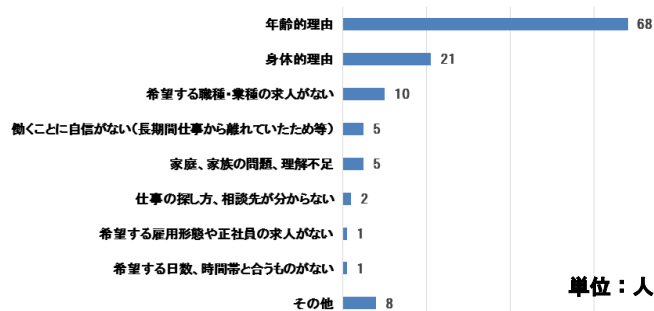


・就労していない方の68.8%は、今後、「仕事に就きたい、働きたい」と考えており、雇用形態については63.6%の方が「正社員」を望んでいます。ただし、勤務場所については、34.1%の方が町内と回答しているものの、「勤務場所はどこでも良い」との回答が最も多く、早期に就業希望であること、また、勤務条件等の質が重要視されていることがうかがえます。

問 34-4 現在、仕事に就きたい（仕事をしたい）ができない理由は何ですか。もっともあてはまるもの一つを選択してください。

- 最も多いのは「年齢的理由」
- 次に多いのは「身体的理由」
- 求人内容と希望が合わない

・高齢化社会の一方、年齢が高くなるにつれて、就労条件が厳しくなっていることがうかがえます。



問 35 就職や求職、労働環境の充実（環境整備）に関し望むものは何ですか。

1) 行政機関（国・道・町）に対し

- 相談窓口の開設 ●保育の充実 ●企業誘致

2) 企業・事業所（雇用者側）に対し

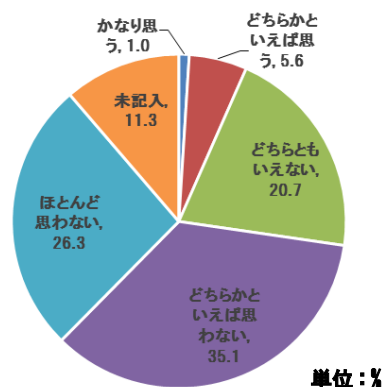
- 勤務時間・休日に融通が利くこと ●賃金の充実

・就労関係の環境整備として、行政には身近な相談体制や保育等のサポート面、企業・事業所等については、待遇面の充実が求められていることがうかがえます。

問 36 あなたは、白老町は働く場所が十分に確保されていると思いますか。

●確保されていると思う割合 6.6%

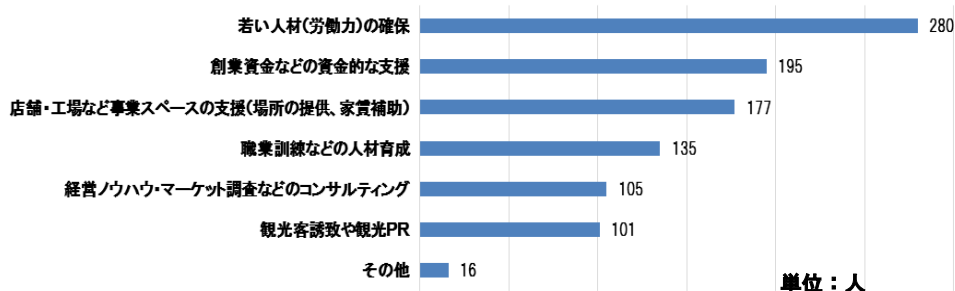
・町内で働く場所の充足度合については、「確保されていると思う」が前回調査（4.4%）を上回ったものの、依然として6.6%と低水準となっており、企業誘致や地域内経済の活性化の必要性がうかがえます。



問 37 町内で新たに事業を始めるために、何か必要（重要）と思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。

- 若い労働力の確保
- 資金面の支援
- 事業スペースの支援

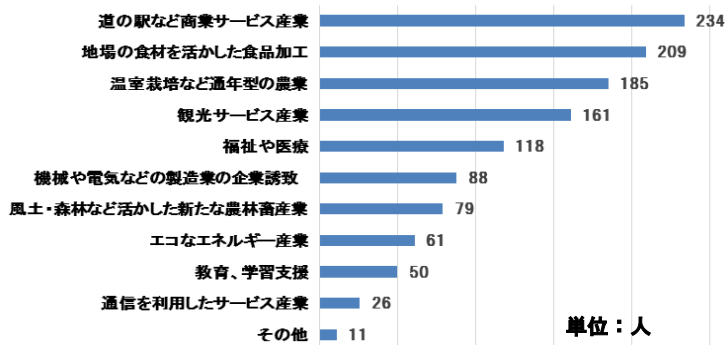
・町内における新規起業等の最大の課題は、創業資金等の資金面よりも労働力、特に若い人材の確保であることがうかがえます。



**問 38 今後、白老町でどのような産業を成長させることがよいと思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。**

- 商業サービス産業
- 地元食材の食品加工
- 通年型農業 がトップ 3

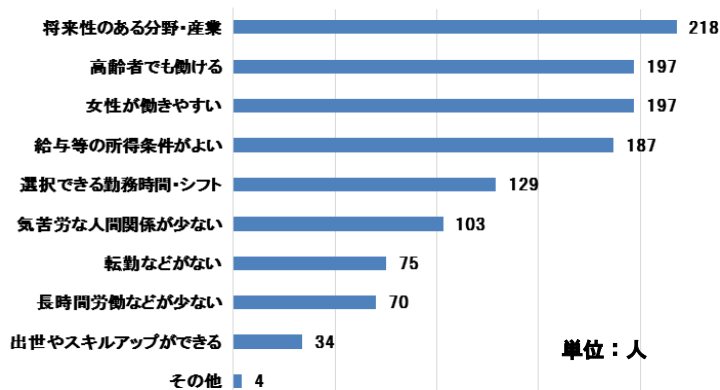
・地域の特性として、食材の特産品が多いことから、道の駅や食品加工業等のサービス産業への期待が高いことがうかがえます。



**問 39 新たに町内に働く場(職場、仕事)を作るとしたら、どのような雇用、就労の条件が望ましいと思いますか(重要と思われるものを3つまで選択)。**

- 将来性のある分野や産業
- 高齢者でも働ける
- 女性が働きやすい がトップ 3

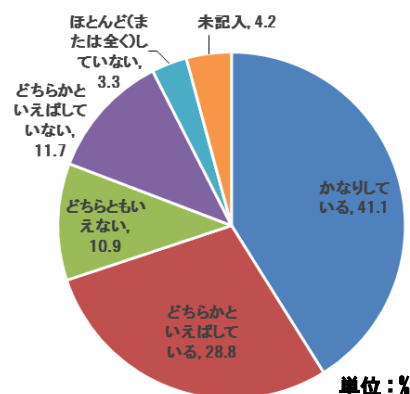
・成長産業への回答が多く寄せられた一方で、本町の人口構成から高齢者や女性の就労に対する関心が高いことがうかがえます。



**問 40 あなたは、普段、白老町内のお店で食料品や日用品などの買い物をしていますか。**

- 町内で買い物をしている割合 69.9% (前回 58.1%)

・町内で食料品や日用品等の調達をしている割合は 69.9%と前回調査時(58.1%)に比較して 11.8 ポイント上回りましたが、依然として 3 割程度は、近隣市町等の郊外型の大型スーパー等へ流出していることがうかがえます。



**問 40-2 「5 ほとんど(または全く)していない」、「4 どちらかといえばしていない」と答えた方にお聞きします。あなたは普段どこで買い物をしていますか(複数選択可)。**

- 苫小牧市 65.6%
- 登別市 51.0%
- 室蘭市 25.1%
- 札幌市 15.2%

**問 41 あなたは、「白老牛」や「虎杖浜たらこ」の地域ブランドや、全道トップクラスの生産量を誇る「鶏卵」や「しいたけ」、白老町の食材を利用した「白老バーガー&ベーグル」などの『食』を通してまちの活力や魅力が高まっていると思いますか。**

- 高まっていると思う割合 66.2% (前回 63.4%)

・『食』を通じてまちの活力や魅力が高まっていると思う」と回答した方は、前回調査時(63.4%)を 2.8 ポイント上回る 66.2%となっており、本町の特産品である「白老牛」や「虎杖浜たらこ」の認知度の高まりがうかがえます。

